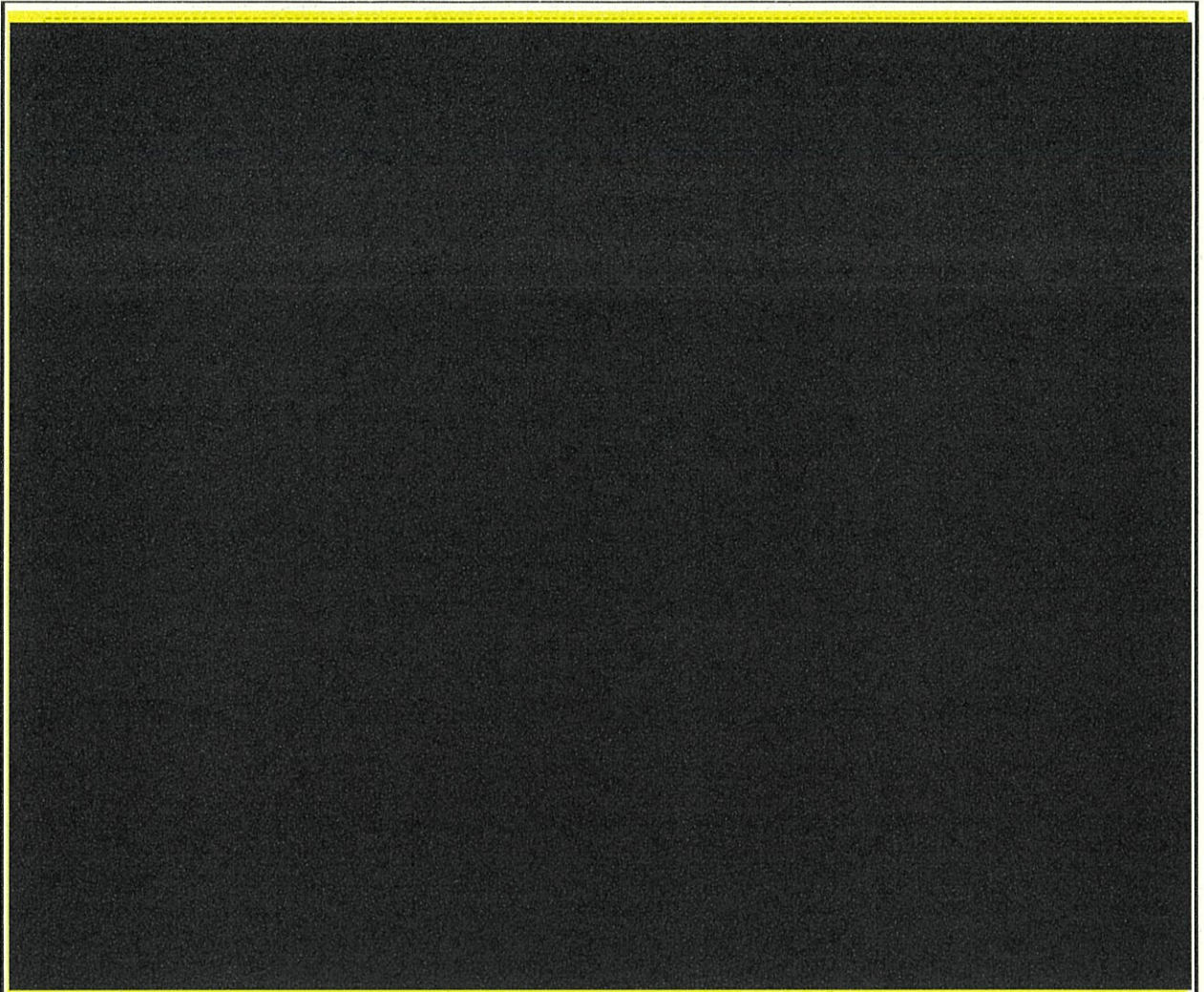




## 11 これまでの実績

## (1) これまでの実績について

## ア 指定管理施設及び類似の業務を行う施設等での管理実績の状況

## (ア)VC の管理運営実績

当協会は県立の VC の指定管理者として、平成 29 年度から管理運営しており、県の指定管理者モニタリングにおける評価は、下記の表のとおりです。

利用者満足度では、毎年最高評価の S を継続し、総合評価(3 項目評価)でも、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用状況が C 評価となった令和 2・3 年度を除き、4 段階評価の上から 2 番目の A 評価を受けるなど、高い評価を受け続けています。

また、令和 2~4 年度の総合結果においては、サービス向上に向けた取組の実施状況は S 評価、総合評価では A 評価を得ています。

## 県立 VC (秦野 VC・西丹沢 VC) のモニタリング結果

| 項目                | H29      | H30      | R 元      | R2       | R3       | R4       | R2~R4<br>総合結果 |
|-------------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------------|
| 3 項目評価            | A        | A        | A        | B        | B        | A        |               |
| 利用状況※             | A        | A        | B        | C        | C        | B        | B             |
| <b>利用者満足度</b>     | <b>S</b> | <b>S</b> | <b>S</b> | <b>S</b> | <b>S</b> | <b>S</b> | <b>S</b>      |
| 収支状況              | A        | A        | A        | A        | A        | A        | A             |
| サービス向上に向けた取組の実施状況 | —        | —        | —        | —        | —        | —        | S             |
| 総合評価 (R2~R4)      | —        | —        | —        | —        | —        | —        | A             |

※R2 年度から R3 年度にかけては新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少した。

※評価：S (極めて良好)、A (良好)、B (一部改善が必要)、C (抜本的な改善が必要)

## 県立 VC (秦野 VC・西丹沢 VC) のモニタリングにおける利用者満足度 (現指定管理期間)

| 評価         | R2    | R3  | R4    |
|------------|-------|-----|-------|
| 満足         | 57.5% | 55% | 55.7% |
| どちらかといえば満足 | 42.5% | 45% | 43.8% |
| どちらかといえば不満 | 0%    | 0%  | 0.5%  |
| 不満         | 0%    | 0%  | 0%    |

※利用者満足度調査回収数：令和 2 年度 227 件、3 年度 213 件、4 年度 211 件

当協会は、秦野 VC 及び西丹沢 VC を含め、神奈川県内の全ての県立 VC を管理した実績があり、これまでに丹沢を熟知した人的資源や利用促進等のノウハウを蓄積してきています。

| 管理施設名                   | 管理期間                   | 備考          |
|-------------------------|------------------------|-------------|
| 県立西丹沢 VC<br>(旧：西丹沢自然教室) | 平成 8 年 4 月～            |             |
| 県立秦野 VC                 | 平成 9 年 7 月～            |             |
| 県立陣馬自然公園センター            | 平成 2 年 4 月～平成 27 年 3 月 | 施設廃止による受託終了 |
| 県立宮ヶ瀬 VC                | 平成 3 年 4 月～平成 28 年 3 月 |             |
| 県立丹沢湖 VC                | 平成 8 年 4 月～平成 27 年 3 月 |             |

※平成 2 年から 6 年度までは (財) 神奈川県自然公園協会の管理受託。

## (イ) 自然公園に隣接又は自然環境を保全している都市公園等の管理運営実績

当協会は、VC の他、20 の都市公園等を指定管理者として運営管理しています。その中には、自然公園に隣接した都市公園や、県内の自然環境保全において重要な役割を担っている公園もあります。VC と都市公園等の施設を連携させることで、県民の自然環境への理解向上等を図っています。

### ■ 秦野戸川公園・山岳スポーツセンター・はだの丹沢クライミングパーク

秦野戸川公園の敷地内に秦野 VC、山岳スポーツセンター、はだの丹沢クライミングパークが設置されており、全施設を当協会が管理運営しています。

※県の指定管理者制度 R4 年度モニタリング（3 項目評価）

秦野戸川公園：「A」

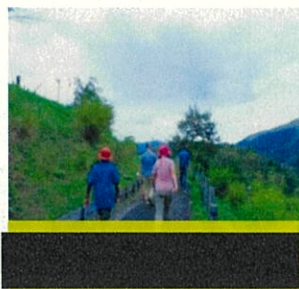
山岳スポーツセンター：「B」（新型コロナウイルス感染症の影響（宿泊室の利用人数制限等）により利用状況 C）

※秦野市の指定管理者制度 R4 年度外部評価

はだの丹沢クライミングパーク「良好」（「大変良好」「良好」「概ね良好」「要改善」の 4 段階評価）

### ■ 山北つぶらの公園

山間部に位置し、山の地形を活かした豊かな自然環境と富士山や相模湾を望める景観、また、園内には北条氏の時代の「鐘ヶ塚砦跡」伝承地があるなど、地域の自然にふれあい、歴史を学べる公園です。令和 4 年度から当協会が指定管理者となり、管理運営を行っています。



※県の指定管理者制度 R4 年度モニタリング（3 項目評価）「S」

### ■ 津久井湖城山公園

関東地方でも有数の戦国期の山城遺構や里山の自然環境、津久井湖の美しい水景などを活かし、歴史や自然、地域とのつながりを大切にした管理運営を行っています。

※県の指定管理者制度 R4 年度モニタリング（3 項目評価）「A」

### ■ 七沢森林公園

※県の指定管理者制度 R4 年度モニタリング（3 項目評価）「A」

### ■座間谷戸山公園

※県の指定管理者制度 R4 年度モニタリング（3 項目評価）「S」

### ■クラウドファンディングの取組

令和 5 年 10 月 17 日～11 月 30 日まで、「公園の桜守プロジェクト in 神奈川～公園の桜を次世代に繋げたい～」「癒しと交流・生き物の生息する水辺回復～つながりの谷プロジェクト」として 4 つの都市公園（三ツ池・塚山・山北つぶらの・観音崎）を対象に、桜の再生や水辺環境の整備などに資するクラウドファンディングを実施したところ、多くの方々に賛同していただき、ともに目標額の 100 万円を超える支援をいただきました。



## （ウ）丹沢地域以外での自然公園普及に関する取組

### ■富士箱根伊豆国立公園での活動

当協会は、丹沢地域だけでなく、富士箱根伊豆国立公園の活動にも深く関わることで、神奈川県内の自然公園に対する普及啓発・保全・活性化に貢献しています。

#### ○「箱根地域自然に親しむ運動実行委員会」への参画

環境省、神奈川県、箱根町、一般財団法人自然公園財団箱根支部とともに「箱根地域自然に親しむ運動実行委員会」を設置し、誰もが箱根の自然に親しみ、自然の大切さを体感できる年 8 回のイベント（当協会主催 2 回）を企画・実施しています。



#### ○「箱根自然解説活動連絡協議会」への参画

箱根での自然解説活動の推進を目的とした協議会に参画し、箱根 VC（環境省設置）が実施する自然解説活動に資金面等で協力しています。

#### ○箱根地域の美化活動への参画

箱根町観光美化推進協会、箱根町観光美化推進会議（事務局：ともに箱根町）へ参画し、環境省が実施する箱根地域国立公園内ゴミ不法投棄防止一斉パトロールに参加するなど、箱根地域の美化推進に貢献しています。

### ○「箱根大涌谷園地活性化協議会」の運営

大涌谷園地での、環境保全に配慮した再整備・活性化を目的とした協議会に事務局として関わり、箱根地域の活性化に貢献しています。

### ○「大涌谷インフォメーションセンター」及び「駐車場」の運営

大涌谷園地を楽しんでいただくため、周辺の自然環境の紹介や観光・交通情報などの情報を発信するインフォメーションセンターと駐車場を運営しています。

### ○「大涌谷園地安全対策協議会」への参画

神奈川県、箱根町、園地事業者とともに、大涌谷園地における利用者の安全確保を目的とした「大涌谷園地安全対策協議会」を設置（事務局：県）し、火山ガスの観測や異常発生時の安全対策の強化を進めています。

また、令和4年3月には、噴火活動の影響で立入規制がされていた自然研究路について、協議会で安全対策を講じた中で引率者付きで入場可能となりました。



大涌谷インフォメーションセンター



引率者付き入場

### ■貴重な資料・書籍の保存

当協会は、自主財源を用いて相模原公園内に平成29年10月に「グリーンアーカイブス」を設置しました。自然公園に関する資料・書籍、自然関係の図鑑、都市公園・都市緑化に関する資料などを保管し、後世に資料を残すとともに、県民が自由に閲覧できる場を提供しています。

（登録数 4,601 冊）



グリーンアーカイブス



グリーンアーカイブスに保管された  
丹沢に関する資料の一部

## イ 神奈川県又は他の自治体等における指定取消しの有無

当協会が運営する施設において、指定取消しになったことはありません。

## 12 その他

### (1) 丹沢再生への貢献

当協会は VC の指定管理者としてのみならず、県土のみどり・環境の保全を図ることなどを目的とする公益法人として、これまでも長年にわたり、丹沢の環境保全・自然再生に取り組んできており、これまでの経験やノウハウを活かしながら、今後とも取り組んでいきます。

#### ア 公益法人としての取組

##### ■丹沢における施設管理・調査研究

当協会は、平成 7 年の合併前の財団法人自然公園協会の時代から、丹沢大山国定公園及び県立丹沢大山自然公園の環境保全と適正利用の推進に寄与する取組を進めてきました。

こうした中、指定管理者制度導入前から、現在は廃止されている宮ヶ瀬 VC や陣馬自然公園センター、丹沢湖 VC も含め、自然公園施設の管理運営事業を実施してきました。

また、調査研究事業として、「丹沢大山自然環境総合調査(平成 5～8 年度)」では事務局として、「丹沢大山総合調査(平成 16～17 年度)」では、実行委員会の委員として参加するとともに、両調査において、職員が調査員として活動するなど、丹沢の環境保全や適正利用の推進に尽力してきました。

##### ■丹沢大山自然再生委員会への参画

丹沢大山総合調査実施後、「丹沢大山総合調査実行委員会」は調査結果を踏まえた政策提言を行いました。この提言を踏まえ平成 18 年 10 月には、丹沢の自然再生に取り組む新しい仕組みとして、NPO、企業、団体、自然環境保全の専門家や行政などの協働による「丹沢大山自然再生委員会」が設立され、更に平成 19 年 3 月には「丹沢大山自然再生計画」が策定されました。

当協会は、「丹沢大山自然再生委員会」にも委員として参画し、現在も次のような活動に取り組んでいます。

- ・県民事業専門部会の委員として、自然再生事業※の普及啓発活動(ワールドフェスタ・ヨコハマや秦野丹沢まつりへの出展等)を実施
- ・丹沢大山自然再生活動報告会への参加(VC の活動等について報告)
- ・活動の資金となる会費負担(当協会自主財源による)

※自然再生事業：神奈川県などの行政機関及び各団体、NPO 等が丹沢大山の自然環境の保全と再生を推進するため、委員会の承認を得て取り組む事業(委員会設置要綱より)

##### ■丹沢大山自然再生事業に関連する県民協働事業への参画

- ・植樹活動などを行い、企業 CSR の場にもなっている「丹沢の緑を育む集い」の委員として、広報や参加者引率等を実施
- ・ゴミ持ち帰り運動の推進等を行っている「丹沢クリーンピア 21」の委員として、広報、清掃活動への参加をするとともに、活動の資金となる会費を負担(当協会自主財源による)



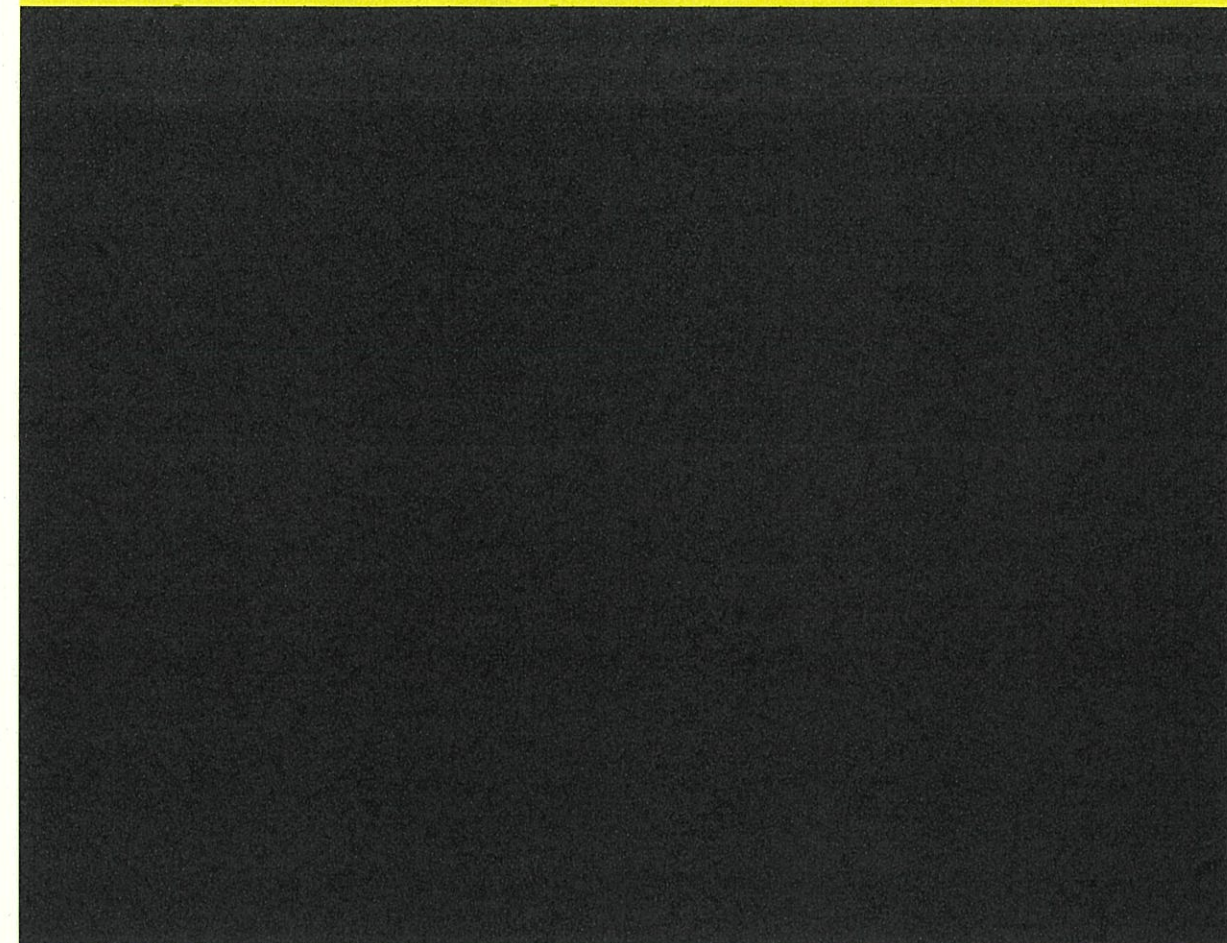
ワールドフェスタ・ヨコハマ



丹沢の緑を育む集い

## イ 指定管理者としての取組

公益法人としての活動におけるネットワークや経験・ノウハウなども活かしながら、VCの指定管理者として、丹沢の自然などを学習する場を提供し、適正で安全な自然とのふれあい等に係る情報を発信すること等により、丹沢の再生に貢献していきます。



(※) 欄が不足する場合は、別紙を追加すること。

